

IT活用による省エネ効果について ～ビル、店舗へのエネルギーマネジメントシステム 導入による省エネ効果～

2016年3月8日

一般社団法人 電子情報技術産業協会
グリーンIT委員会 BEMS導入促進WG 主査

富士通株式会社

山本浩二

目次

- 1 BEMS導入促進WGの活動内容**
- 2 BEMSの機能と効果**

1. 活動内容

JEITA グリーンIT委員会について(1)

グリーンIT委員会は、「旧 グリーンIT推進協議会」の事業を引き継いで、平成25年度にJEITAに新設された委員会です。
今年度で活動3年目です。

■グリーンIT推進協議会(平成20～25年度)について:

平成20年2月、経済産業省のグリーンITイニシアティブの下に、ITエレクトロニクス関連7団体による「グリーンIT推進協議会」が設立されました(幹事事務局:JEITA)。

■グリーンIT推進協議会の活動:

協議会では、グリーンIT (of IT=IT機器の省エネ、by IT=ITによる社会の省エネ) について5年間にわたり各種の調査検討、普及啓発事業を国内外で実施しました。
詳細は下記サイトをご覧ください。

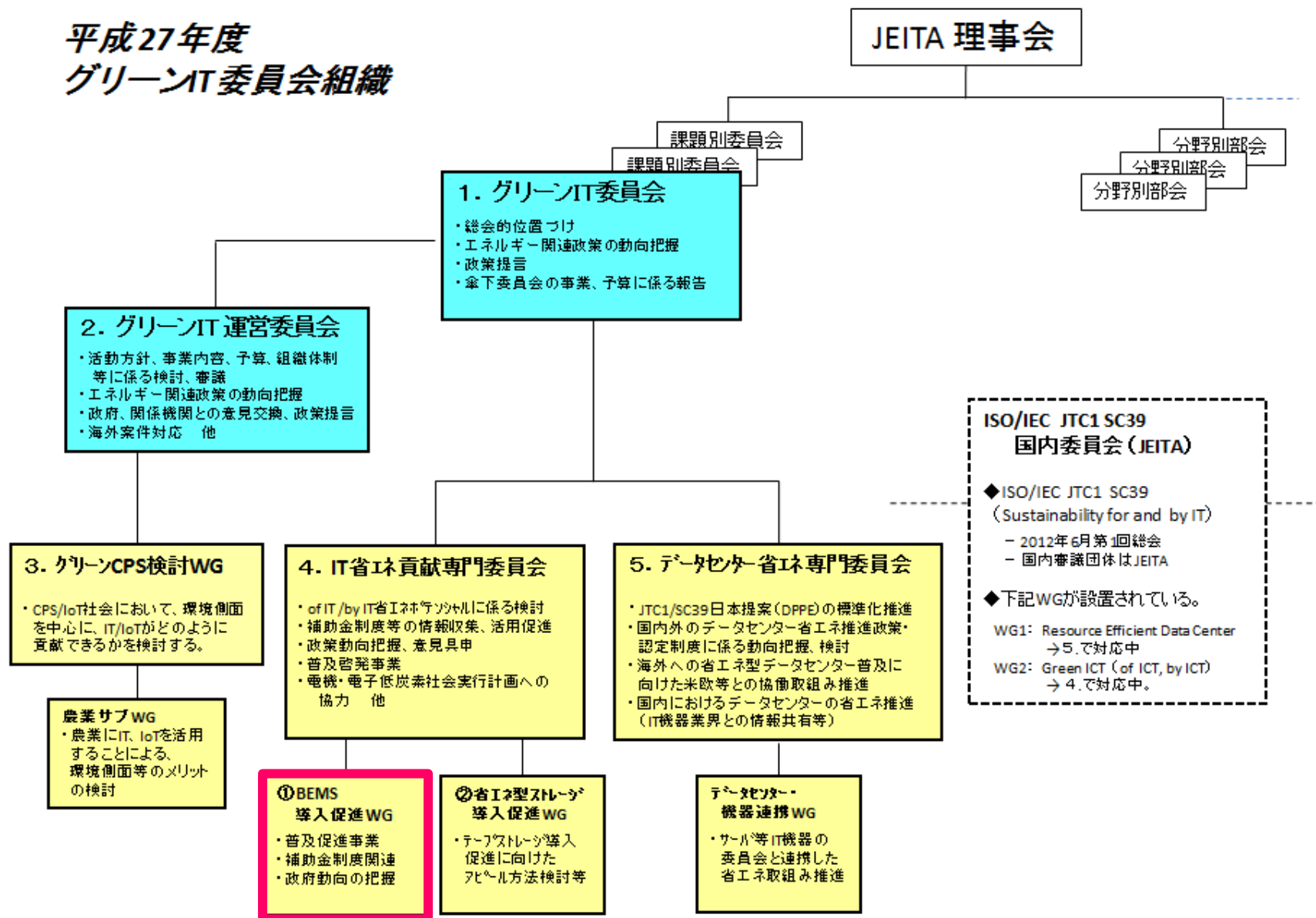
<http://home.jeita.or.jp/greenit-pc/about/activity.html>

■協議会の終了と、JEITA「グリーンIT委員会」の新設:

平成25年3月末をもって協議会の形での活動は終了し、継続する事業をJEITAの「グリーンIT委員会」が引き継いで、グリーンIT製品の導入促進に係るさまざまな事業を推進しています。

JEITA グリーンIT委員会について(2)

平成27年度 グリーンIT委員会組織



BEMS導入促進WGの活動(1)

BEMS導入促進WGは、ビル・建物の省エネ推進を目的とし、平成26年度にグリーンIT委員会の配下に設置。

活動方針

ビル・建物の省エネに有効なツールであるBEMSの省エネポテンシャル等を広く社会にアピールする。

これまでの主な活動内容

(1) BEMSによる省エネポテンシャルの定量化

公開情報や委員各社の事例を収集し、対象範囲等を明確化した上で、BEMSによる省エネポテンシャルを算定。

(2) BEMS導入の普及に向けた課題の抽出

BEMS導入にあたっての課題、補助金など政府の支援制度の活用状況等について調査を行うとともに、情報交換・意見交換を行った。

BEMS導入促進WGの活動(2)

メンバー企業 (2015年9月現在)

- ◎ 富士通株式会社
- NTTデータカスタマサービス株式会社
- アズビル株式会社
- 株式会社東芝
- 日本電気株式会社
- 日本ユニシス株式会社
- 株式会社日立製作所
- (事務局)
- 一般社団法人電子情報技術産業協会

2. BEMSの機能と効果

IoT時代の到来

IoT (Internet of Things 「モノ」のインターネット)」

インターネットがコンピューターのネットワークであったのに対して、テクノロジーの進化により、今までネットワークに接続されていなかった「モノ」がインターネットを介して情報をやり取りする能力を備えていくようになりました。

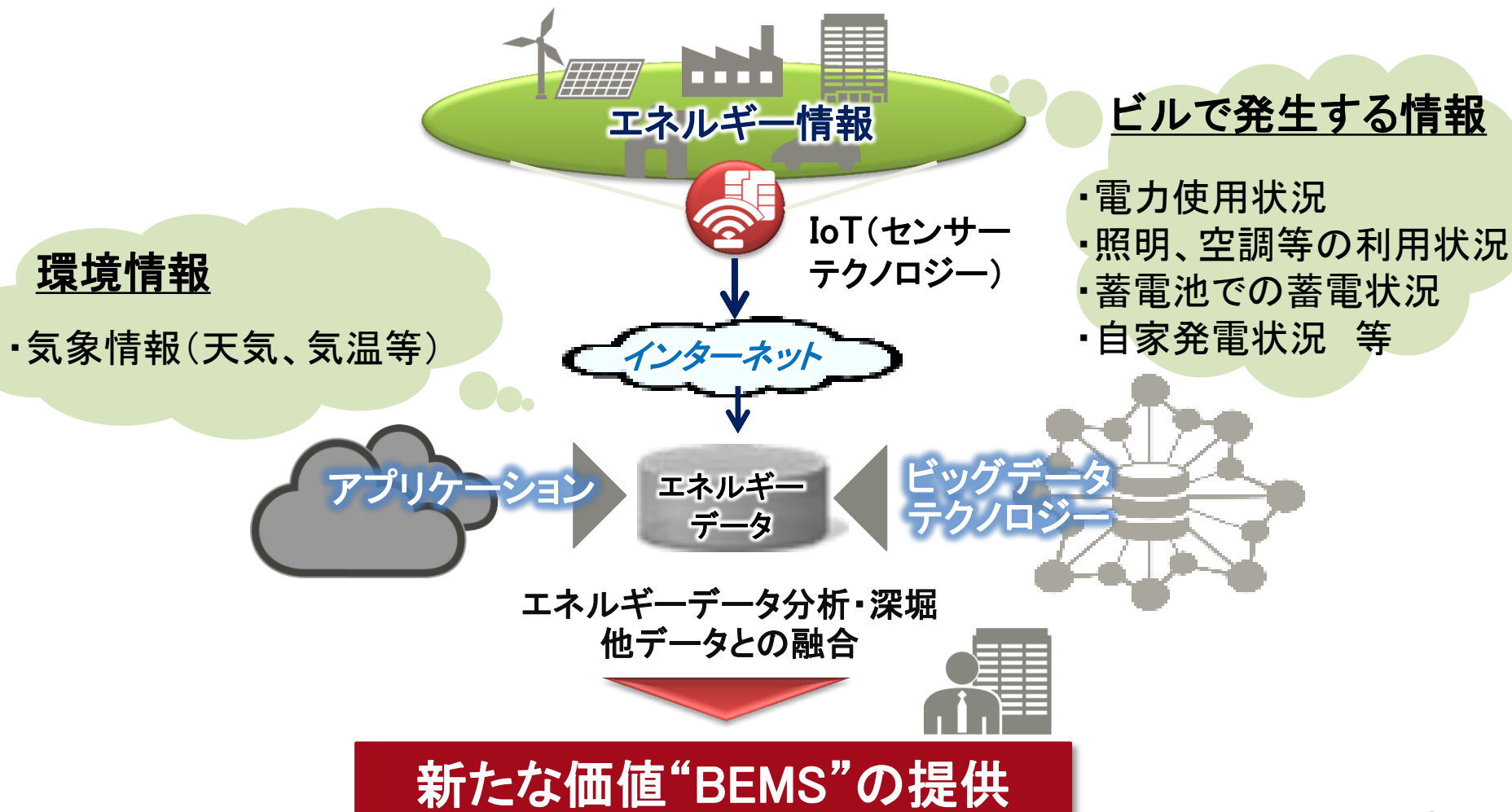


出典: 富士通株式会社

機器から発生する多種多様なデータを活用することによる新たなサービスや製品の創出が期待される。

IoT社会におけるBEMS

IoTはビルにおける省エネルギーサービスにも影響。多種多様な情報をもとにしたビルのエネルギーマネジメントとして、新たな価値の提供が可能に。



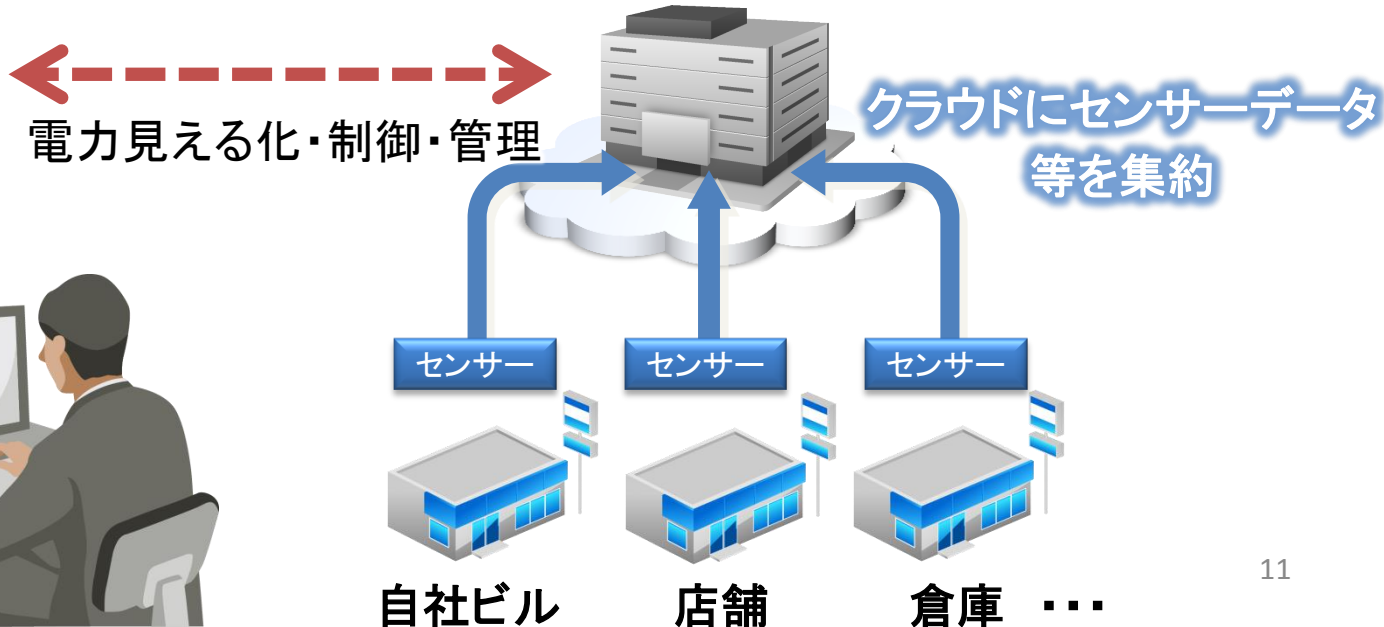
BEMSの機能

●BEMSの一般的な機能とイメージ

電力見える化	電力の計測
	計測結果のデータ化・表示
電力制御	接続機器の制御
電力管理	課題の抽出
	データの保存管理
	診断・結果

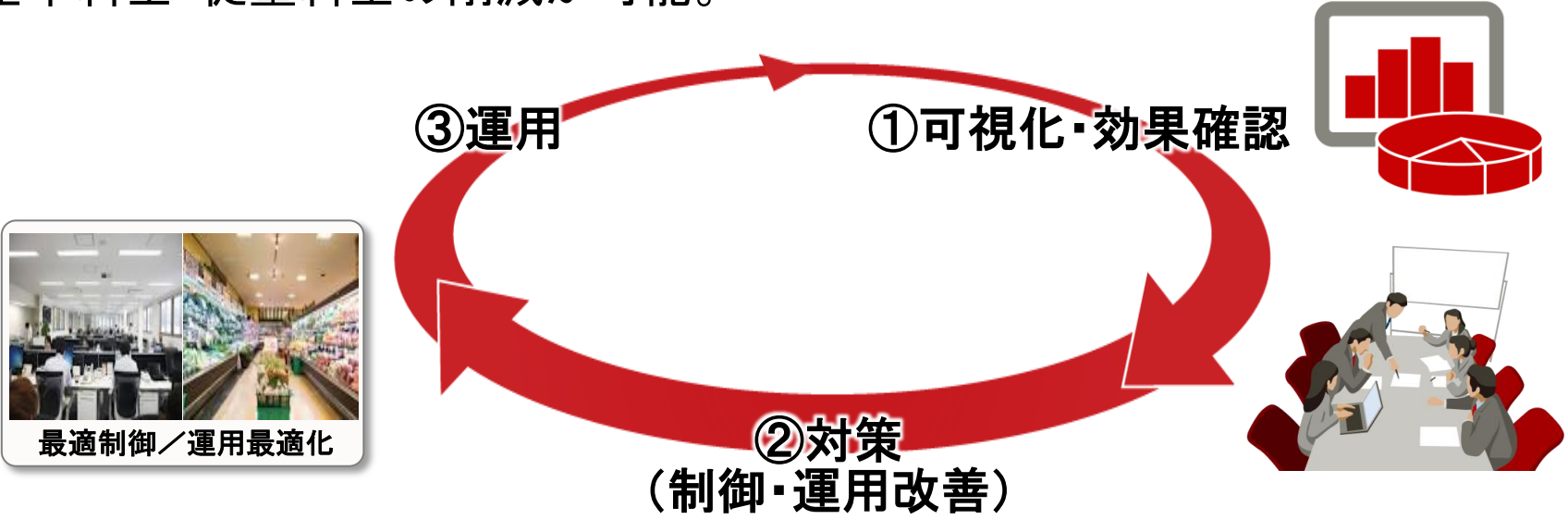


本部等

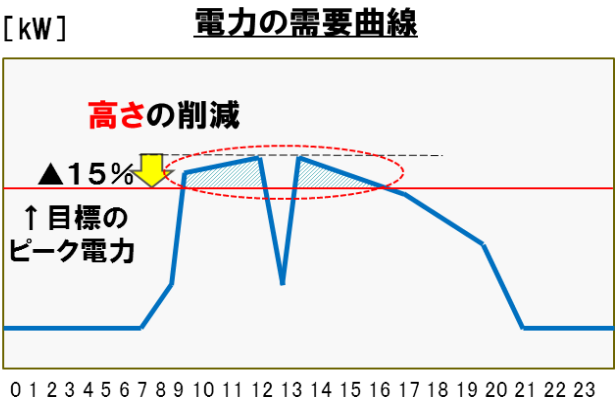


BEMSの効果

「可視化・効果確認」、「対策(制御・運用改善)」、「運用」のサイクルを回すことで、基本料金・従量料金の削減が可能。



基本料金の削減(ピーク電力)



従量料金の削減(電力使用量)

